

# 令和2年度 国際防災・人道支援協議会(DRA)活動報告会の開催 ～ ポストコロナ社会構築に向けたDRAの挑戦 ～

## 1 趣旨

世界に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症が収束の気配を見せない中、社会経済活動との共存の道が模索されている。このような時だからこそ、阪神・淡路大震災からの復興のシンボル・プロジェクトのひとつとして、21世紀の健やかな人類社会の発展に貢献するため、神戸東部新都心(HAT神戸)に集積された「国際防災・人道支援協議会(DRA)」の各構成団体による新型コロナウイルス感染症との共存を見据えた最新の知見をYouTubeを活用しながら、安全・安心に広く県民に紹介する時代が求めるニューノーマルな報告会を実施する。

## 2 実施主体

国際防災・人道支援協議会 (Disaster Reduction Alliance)

## 3 事業概要

(1) 日時：令和2年9月7日(月) 15:00～16:30

(2) テーマ：「ポストコロナ社会構築に向けたDRAの挑戦」

(3) プログラム(予定)

※敬称略

① 主催者挨拶

五百旗頭 真 DRA会長(公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 理事長)

② 基調講演

「コロナ感染症と共存する社会における防災対策」

河田 恵昭 人と防災未来センター長

③ DRA団体発表

ア) 世界保健機関(WHO)健康開発総合研究センター 医官 茅野 龍馬

テーマ：COVID-19と災害・健康危機管理 ～よりよい備えと対策に資する国際連携研究の促進～

イ) アジア防災センター 所長 中川 雅章

テーマ：アジア諸国における新型コロナウイルスへの対応

ウ) 兵庫県災害医療センター センター長 中山 伸一

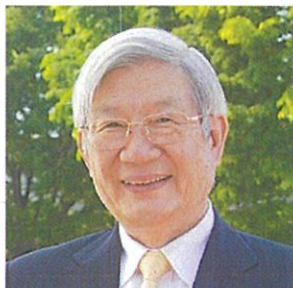
テーマ：新型コロナ時代：多発する自然災害にどう向き合うのか？

④ 総括(16:25～16:30)

コーディネーター：河田 恵昭 人と防災未来センター長

# 登壇者 プロフィール

## 【主催者挨拶】 五百旗頭 真 国際防災・人道支援協議会（DRA）会長



京都大学法学部卒業。同大学院法学研究科修士課程修了。法学博士。専門は日本政治外交史。神戸大学教授、防衛大学校長、熊本県立大学理事長を経て現在、兵庫県立大学理事長、（公財）ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長。東日本大震災復興構想会議議長、くまもと復旧・復興有識者会議座長なども務めた。文化功労者。兵庫県行財政運営審議会会長、宮内庁参与、兵庫県長期ビジョン審議会会長。

## 【基調講演・コーディネーター】 河田恵昭 国際防災・人道支援協議会（DRA）会長代理



関西大学社会安全学部特別任命教授（チェアプロフェッサー）・社会安全研究センター長。工学博士。専門は防災・減災・縮災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長（兼務）のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。2007 年国連 SASAKAWA 防災賞、09 年防災功労者内閣総理大臣表彰、10 年兵庫県社会賞受賞、14 年兵庫県功労者表彰、16 年土木学会功績賞、17 年アカデミア賞、18 年神戸新聞平和賞受賞。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。

## 【団体発表】

### 茅野 龍馬 世界保健機関（WHO）健康開発総合研究センター 医官



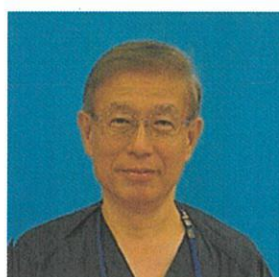
長崎大学医学部医学科卒業。長崎大学医学部研究高度化支援室助教、長崎大学国際連携研究戦略本部助教を経て、2015 年より世界保健機関（WHO）健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）医官に就任、災害・健康危機管理を中心とした国際保健に貢献する。仙台防災枠組実践のための科学的エビデンス向上を目的とした WHO グローバルリサーチネットワークの設立に貢献し、事務局を務める。国内外の専門家による共同研究の推進、本領域の科学的エビデンスに関するナレッジハブの構築に尽力する。

### 中川 雅章 アジア防災センター所長



1993 年に国土庁（現在の国土交通省）に入庁。カリブ災害対応緊急機関（JICA 専門家として派遣）、外務省在ジュネーブ国際機関日本政府代表部、国連人道問題調整事務所、内閣府政策統括官（防災担当）等において国際防災業務を経験。国土交通省国土政策局総合計画課、同国土管理企画室、広域地域政策課等において、国土政策の観点から広く環境、防災、インフラ整備について長期計画を立案。2020 年 7 月より現職。

### 中山 伸一 兵庫県災害医療センター長・神戸赤十字病院副院長



1980 年神戸大学医学部、1989 年同大学院医学研究科卒業。米国クリーヴランドクリニック研究員、神戸大学病院救急部、同大学院災害・救急医学分野助教授、兵庫県災害医療センター副センター長を経て 2012 年から現職。国内外での災害対応の他、兵庫県新型コロナウイルス入院コーディネーターセンターでも活動。日本 DMAT 研修の西日本総責任者。第 14 回アジア太平洋災害医学会、第 25 回日本災害医学会を神戸で開催。

## 国際防災・人道支援協議会概要

神戸東部新都心（HAT 神戸）を中心に立地する防災関係機関が連携を図り、それぞれの機関がその機能を効果的に発揮することを目的として設立され、令和元年度末現在、構成メンバーは19機関となっている。

活動報告会のほか、毎年1月に「国際防災・人道支援フォーラム」を実施している。

- (1) 名 称 国際防災・人道支援協議会  
(英語名称：Disaster Reduction Alliance(DRA))
- (2) 設立年月日 平成14年10月10日
- (3) 事務局 人と防災未来センター (DRI)
- (4) 構成メンバー 会員19機関  
アジア太平洋地球変動研究ネットワーク (APN) センター  
アジア防災センター (ADRC)  
神戸地方気象台  
神戸赤十字病院  
国際エメックスセンター (EMECS)  
国際協力機構 (JICA) 関西センター  
国際復興支援プラットフォーム (IRP)  
国連防災機関 (UNDRR) 駐日事務所  
国連人道問題調整事務所 (OCHA) 神戸事務所  
世界保健機関健康開発総合研究センター (WHO 神戸センター)  
地球環境戦略研究機関 (IGES) 関西研究センター  
日本赤十字社兵庫県支部  
人と防災未来センター (DRI)  
兵庫県こころのケアセンター (HITS)  
兵庫県災害医療センター (HEMC)  
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科  
兵庫県立大学 防災教育研究センター  
ひょうご震災記念21世紀研究機構 (Hem21)  
兵庫耐震工学研究センター (E-Defense)
- (5) その他 (Website)  
<http://www.dri.ne.jp/dra>